

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①定時制総合学科、単位制の仕組みを活かした教育課程を提供する。 ②生徒の学習ニーズに応える多様な柔軟な学習支援の充実を図る。	①着実な履修指導、単位修得指導の推進を図る。 ②授業のユニバーサルデザイン化に向けて組織的な授業改善を図る。	①きめ細かな履修指導を行い、年度途中で履修を諦める生徒の減少を図る。 ②生徒が学習成果を実感・確認できる授業を展開するために、公開授業や研究授業を実施する。	①未履修となった生徒が減少したか。 ②公開授業や研究授業を実施できたか。					
2 生徒指導・支援	生徒が安心して充実した学校生活を送れるよう、また、課題を抱えた生徒一人ひとりに応じた柔軟できめ細かな支援ができるよう指導・支援の充実を図る。	生徒一人ひとりについて、あらゆる角度から理解を深め、よりよい支援を行う。	・生徒の情報共有を徹底し、課題解決に向け即応性をもって取り組む。 ・問題行動等の未然防止に努める。 ・生徒理解を目的とした研修会を実施する。	・生徒理解につなげるため保護者との連携に努め、生徒が生き生きと学校生活を送ることができているか。 ・問題行動が減少したか。					
3 進路指導・支援	進路実現のためのキャリア教育を推進し、社会生活実践力の育成を図る。	生徒一人ひとりのニーズに応じた進路指導を図る。	・面談を通じて生徒一人ひとりのニーズを把握し、充実した進路指導を行う。 ・進路だよりを発行し、生徒、保護者及び担任に様々な進路情報を提供する。 ・ハローワーク、サポートステーション及びNPO団体との協働を図る。	・進路未定率がどの程度減少したか。 ・進路だよりを何号まで発行できたか。 ・ハローワーク、サポートステーション及びNPO団体と協働できたか。					
4 地域等との協働	学校外の機関との協働・連携や外部人材の活用により、地域等の教育	・就労支援のため外部機関との協働を図る。 ・保護者との連	・ハローワーク、サポートステーション及びNPO団体との協働を図る。 ・本校定時制HPを活用	・ハローワーク、サポートステーション及びNPO団体と協働できた					

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
	力を活かした学校づくりを進める。	携を図る。	して保護者へ学校行事等の参加を呼びかける。	か。 ・保護者との連携がどの程度できたか。					
5 学校管理 学校運営	①安全教育、環境教育を推進し、安心・安全な教育環境を構築する。 ②すべての職員の資質向上を図るとともに、風通しのよい職場づくりをめざし、教職員の事故・不祥事を未然に防止する。	①6S教育(※)を実践する。 ①防災体制の充実を図る。 ②教職員の事故・不祥事防止に取り組む。	①授業や特別活動を通じて、6S教育を実践する。 ①避難訓練を通じて、防災教育を行う。 ②定期的に事故・不祥事防止等の研修を行う。	①安全・安心な学校づくりに資するため、6S教育を実践できたか。 ①防災教育を実践できたか。 ②全職員で事故・不祥事ゼロを実現できたか。					

※ 6S教育・・・安全・環境教育の推進に資するため、6S「整理、整頓、清潔、清掃、躰、セイフティ(安全)」運動を展開する。